



世界無形遺産

令和六年六月八日(土)十二時半開演(十一時半開場)

円満井会定例能

全自由席

於矢来能楽堂

〒162-0805

東京都新宿区矢来町六〇
電話 〇三―三三六八一七三―一

Sat., Jun. 8 2024 / 12:30 ~ 16:25 / ¥5,000 (¥2,000 for 25years old or younger)

YOH ROH

Learning about a miracle spring at Motosu in Mino Province, the Emperor sends an imperial envoy there to confirm the power of the spring. The envoy arrives at the area and meets an old woodcutter and his son who found the spring, and asks the origin of the name, Yoh-Roh or “caring elders.” Father tells that one day his son during the work in the mountain found very refreshing water and took it home for his parents who also got miraculously energetic after drinking it. When the envoy is confident of the effect of the water and is about to return to the capital, suddenly the sky shines and flowers fall with music. The mountain deity appears and dances, celebrating the peace and prosperity of the reign.

SHINBAI

The master needs a fine branch to use as a main part of a flower arrangement and goes out with Taro-kaja to look for one. When they see a man carrying a gorgeous branch for someone else, the master is enchanted by it. Then Taro-kaja, equipped himself with the master’s sword, asks the man to give away the branch in vain. After a struggle by the two, Taro-kaja gets the branch and brings it proudly to the master. The master notices that his sword is gone. Waiting for the man on his way back, they catch the man but find no rope to tie him up. So, Taro-kaja starts making a piece of string!

HASHITOMI

While a priest is holding a service for flowers he had offered to the Buddha during the summer, a woman shows up and adds a moonflower, *yugao*. Suggesting that she is the ghost of Lady Yugao, a lover of Prince Genji, and that where she lives, she disappears. When the priest visits the site of her residence on the Gojo Street to console her soul, the ghost of Lady Yugao appears behind the lattice door entangled with moonflowers. She talks about her happy memories after encountering Prince Genji, who admired the beauty of moonflowers. She dances, begs the priest to pray for her soul, and hides herself behind the door. The priest finds that he had a dream.

- お申し込みは出演能楽師、または金春円満井会までどうぞ。
- 上演中の無断撮影、録音、録画は固くお断り申し上げます。
- 出演者、曲目は都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

<主催>

公益社団法人 金春円満井会

komparu-emmaikai

〒167-0042

東京都杉並区西荻北 2-27-7 アルファ西荻窪 2F

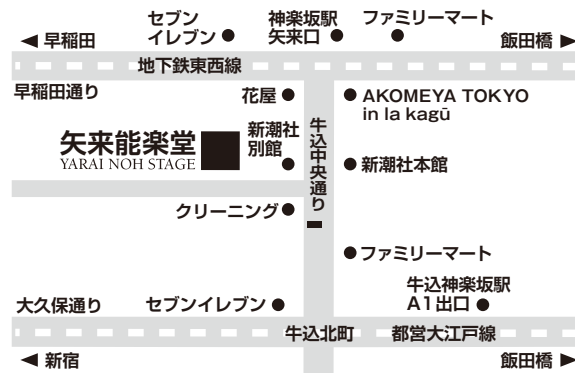
電話 03-6913-6714 FAX 03-6913-6775

ホームページアドレス

<https://www.komparu-enmaikai.com/>

<TYoshikawa/STakahashi>

矢来能楽堂地図



地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩 2分
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩 5分

駐車場がございません。
近隣のコイン駐車場をご利用ください。

養老 (ようろう)

雄略天皇の時、美濃国本巢の郡に不思議な泉が湧いた。確認のため現地へ赴いた勅使は、「養老の滝」のほとりで、泉を見つけた樵の老人と息子に出会う。勅使が養老の名の由来を尋ねると、息子が薪を採りに入る山路で、この水を飲んだら心身の疲れがとれ、汲んで家に運んで父母にも飲ませたところ老衰が癒えたので、「老いの身を養う葉の水」と名付けたという。

親子は勅使を源泉の滝壺へ導き、不老長寿をもたらす水や酒の徳を讃えていると、天上から音楽が聞こえ、花が散り降ってくる。舞台では、静かに退出する親子と入れ違いに、近在の者がやってくる。泉を見つけた親子の事を詳しく語り、水を飲んで舞い若返り、喜んで帰ってゆく。そこへ神が颯爽と現れ、この山に棲む神にして楊柳観音菩薩でもあると告げると、山風や流水の音楽によって清冽な舞を繰り広げ、天下泰平の聖代を祝福して消える。

さて、勅使と親子による水の徳の話は、中国の神仙思想に基づいており、山神は儒教が描く自然界の秩序に適った政治世界を祝福している。道教・神道・仏教・儒教を合わせもつ室町ならではの発想である。この神は、ある場所や物語に依拠する神社の祭神ではなく、シャーマンに取り憑く祟り神（モノ）でもなく、山の樹木や水に通う自然の霊気の化身である。深山幽谷の神仙世界（自然界）と人の暮らす里山（生活世界）の境に、養老の滝は今もあり、清冽な水を湧出している。（森）

半蔀 (はしとみ)

源氏物語の夕顔の君が主人公の能。源氏物語で描かれるのは源氏との出会いと突然の死別。源氏が乳母を見舞った際に隣家の垣根に咲く夕顔の花が目に留まり、その家に使いを出すと、香を薫きしめた白い扇に和歌を添えて花を渡される。源氏は思いがけず教養ある応対に興味を持ち、やがてその家の主・夕顔の君と恋人関係となるが、ある夜に物怪に襲われ、夕顔は命を落とす。

一見悲劇のヒロインのようだが、源氏に愛されたまま傷つけられることはなかった夕顔は、ある意味では源氏物語の中で最も幸せな女性と解釈することも出来る。

能《半蔀》は複式夢幻能の形式で、修行中の僧（ワキ）の前に里の女（前シテ）が現れ、名を尋ねても「そのうちわかります」とだけ返答し姿を消す（中入）。作り物から夕顔の君（後シテ）が現れ、光源氏との思い出を語り舞うが、やがて明け方になると作り物の中に入り姿を消す。全て僧の夢の中の出来事であった、という内容。

蔀とは、日光や雨風などを除けるための建具。板の表裏に格子を組み、長押しに吊って開閉する仕組み。その板が上下二つに分かれていることから、半蔀と呼ぶ。

後シテの作り物はこの半蔀を表したもの。作り物の蔀戸は上から吊るのではなく、下から長い支え棒のようなものを使って後見が開閉する。

夕顔が主人公の能は《半蔀》の他に《夕顔》があり、近年金春流でも復曲された。《夕顔》では作り物は出ない。（林）

「定例能入場券」「カレンダー」「金春月報」などご希望の方はインターネットからご購入頂くことができます。

※下記QRからどうぞ。



<https://ws.formzu.net/fgen/S38826101/>

金春円満井会の紹介動画を作成しました。

※下記QRからどうぞ。

前半は子ども向け、後半は一般向けになっております。お稽古のご案内のほか、正会員・賛助会員のご加入、ご寄付もお願いしております。動画をご視聴の上、是非ご検討ください。



<https://m.youtube.com/watch?v=4wRLGPKAYfE&feature=youtu.be>

番組組

解説 本田布由樹

ツレ／男 岩松 由実

後シテ／山神 前シテ／老翁 森 瑞枝

能 養老 野口 琢弘 大鼓 亀井 洋佑 太鼓 林 雄一郎
ワキ／勅使 小鼓 大山 容子 笛 小野寺竜一

アイ／本巢郡の者 大藏 教義

後見 高橋 忍 岩間啓一郎 本田布由樹
本田 芳樹 地謡 渡辺 慎一 金春 安明
杉田 浩庸 金春 憲和
金春 政和 金春 嘉織

狂言 真奪 シテ／太郎冠者 大藏吉次郎 アド／主人 榎本 元
アド／道通り 上田 圭輔 後見 吉田 信海

〈二時二十五分頃・休憩二十分〉

仕舞 船弁慶クセ 深津 洋子 安達 裕香
邯鄲 村岡 聖美 地謡 梅井みつ子

仕舞 兼平 金春 嘉織 本田布由樹
山姥キリ 中村 昌弘 地謡 山井 綱雄
本田 芳樹 大塚龍一郎

後シテ／夕顔上の霊 前シテ／里女 林 美佐

能 半部 ワキ／紫野の住僧 村瀬 提 大鼓 柿原 光博 小鼓 大村 華由 笛 熊本俊太郎

アイ／所の者 大藏彌太郎

後見 辻井 八郎 芝崎眞貴子 安達 裕香
井上 貴覚 地謡 深津 洋子 柏崎真由子
大澤久美子 村岡 聖美
伊藤 珠美 岩松 由実

附祝言

〈終演予定 四時二十五分〉

※コロナウイルス感染対策にご協力お願い申し上げます。

円満井会定例能公演予定 於 矢来能楽堂 十二時半始

令和六年度公演

令和六年 九月二十八日(土) 巴 村岡 聖美 融 柏崎真由子
令和七年 一月二十五日(土) 歌占 中村 昌弘 三輪 安達 裕香
令和七年 三月十五日(土) 高砂 中野由佳子 千手 本田 芳樹

■入場料 一般五、〇〇〇円 25歳以下二、〇〇〇円

※令和六年度より、定例能が能二番(入れ替えなし)になります。

※都合により曲目・出演者に変更のある場合がございます。